

パソコンのおさらい 「今さら聞けないパソコンの基本」

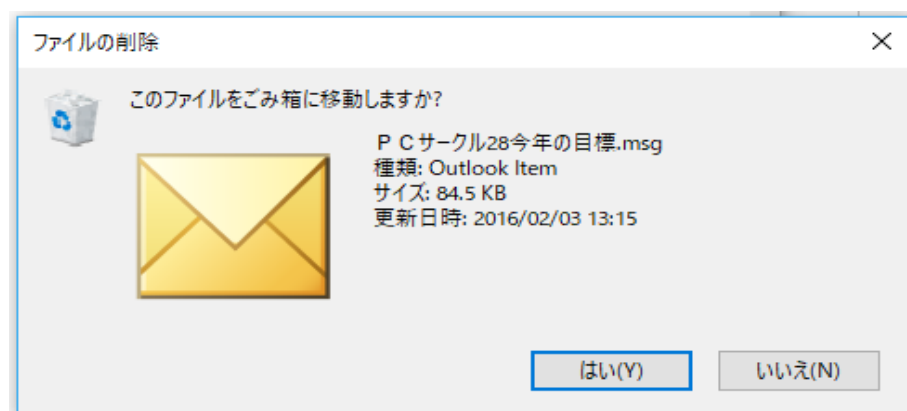
3. ファイル削除の仕組み（「ゴミ箱」と「削除」）

ファイルをゴミ箱に入れて削除したらどうなるの？しくみは？

ゴミ箱

「ゴミ箱」は一時的な保存領域で、「ゴミ箱」フォルダに移動しただけです。ファイルやデータを削除してしまうと、基本的には元に戻すことはできません。そこで「ゴミ箱」という保存領域を設けて一時ここに保存されるようになっています。

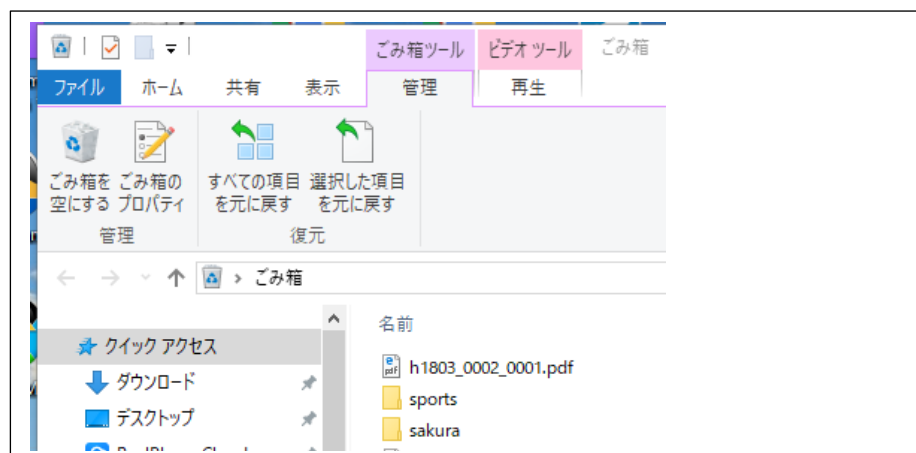
ファイルやデータを「右クリック」で「削除」を選択すると、次のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると「ゴミ箱」フォルダに移動します。（ファイルはまだ削除されていないので、元に戻すことも出来ます）



削除

「削除」は、ゴミ箱からも消しちゃった状態です。

デスクトップにある「ゴミ箱アイコン」をクリックすると、ゴミ箱にあるファイルが表示されます。＜ゴミ箱ツール（管理）＞で「ゴミ箱を空にする」「元に戻す」などを指定します。



実はこの削除した状態でもファイルはまだ残っています。実際にディスクから消えてしまった訳では無くて「もう使ってないから上書きしていい」という状態になっています。この状態であれば「削除データの復旧」が可能です。いずれ上書きされると本当に消えます。そうなってしまったらもう復活させようはありません。このへんのくわしいことは、ここでは省略します。